



保険適用価格（患者さま負担額：30%）2022年4月（準備整次第）～

一般不妊治療管理料：750円（3ヶ月に1回）
人工授精：5460円

1. 生殖補助医療管理料：900円（体外受精周期毎）

排卵誘発剤：実費（保険） 約10000～20000円
超音波、ホルモン検査（保険） 1回約4000円
※1周期3回程度

2. 採卵基本料：9600円（0個の場合）

採卵毎に下記を加算

1個	7200円（合計16800円）
2～5個	10800円（合計20400円）
6～9個	16500円（合計26100円）
10個以上	21600円（合計31200円）

（麻酔は別途）

3. 受精法

3-1. 媒精（ふりかけ） 12600円（個数にかかわらず）

3-2. 顕微授精（ICSI）

1個	14400円
2～5個	20400円
6～9個	30000円
10個以上	38400円

※ 両方実施の場合は、顕微授精代+媒精の半分（6300円）

※ TESE 精子使用の場合は 15000円加算

※ 卵子活性化の場合は3000円加算

【例1】完全自然周期 約 100000円

900円+採卵1個：16800円+媒精12600円+培養13500円+タイムラプス 約40000円（自費）+新鮮胚移植22500円
（薬剤、ホルモン検査、超音波で約8000円）

【例2】刺激周期（採卵8個、**新鮮胚移植**、余剰胚凍結3個の場合） 約 170000～180000円

900円+採卵8個：26100円+媒精12600円+培養（仮：6個）25200円+新鮮胚移植22500円+タイムラプス 約40000円（自費）
+胚盤胞培養（5個）6000円+凍結（3個）21000円（薬剤、ホルモン検査、超音波で約20000～30000円）

【例3】刺激周期（採卵8個、**全胚凍結**、余剰胚凍結3個の場合） 約 150000～160000円

900円+採卵8個：26100円+媒精12600円+培養（仮：6個）25200円+タイムラプス 約40000円（自費）
+胚盤胞培養（6個）7500円+凍結（3個）21000円（薬剤、ホルモン検査、超音波で約20000～30000円）

※ 回数のカウントは、「移植」までした場合を基準とし、「採卵」の回数ではありません。

※ 将来使用目的での採卵は保険対象外です。

※ 高額療養費限度額制度を使用した場合は還付あり。

4. 受精卵培養（採卵翌日から：受精した個数毎）

1個	13500円
2～5個	18000円
6～9個	25200円
10個以上	31500円

先進医療タイムラプス培養加算 約40000円（自費）

5. 胚盤胞加算（胚盤胞培養個数）

1個	4500円
2～5個	6000円
6～9個	7500円
10個以上	9000円

6. 胚移植

新鮮胚移植	22500円（AHA/GLUE込み：28500円）
融解胚移植	36000円（AHA/GLUE込み：42000円）

※ AHA（アシステッドハッチング） 3000円

※ GLUE（ヒアルロン酸培養液添加）3000円

7. 胚凍結保存

1個	15000円
2～5個	21000円
6～9個	30600円
10個以上	39000円